

2024年2月22日

各位

会社名：住江織物株式会社
 代表者名：取締役社長 永田 鉄平
 コード番号：3501 東証プライム市場
 問合せ先：常務取締役経営企画室部長
 薄木 宏明
 (TEL 06-6251-6803)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、2024年2月22日開催の取締役会において、自社の資本コストや資本収益性についての現状分析を実施し、改善に向けた方針を決議いたしましたので、下記のとおり、お知らせいたします。

記

1. 現状分析

当社は、2021年7月に中長期経営目標「SUMINOE GROUP WAY 2022～2024～2027」を発表し、その方針のもと、各種施策を推進しております。2024年5月期通期連結業績予想は北米進出した2003年以降最高額の連結売上高102,200百万円を見込んでおり、各段階損益も過去最高水準となる見通しです。

しかしながら、良好な収益性に対し2023年5月期の当社グループのPBRは0.5倍と1倍に満たず、過年度においても0.4倍程度の水準で推移しております。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大前の2019年5月期の1株当たり当期純利益が65.36円に対し、2024年5月期見通しは241.93円としていることから、現在の株価は割安で推移しているものと認識しております。

当社の株価が低位にとどまる理由として、半導体・部品供給不足による自動車生産停滞から脱却後の成長性を十分に示せていないことや、配当政策が抽象的であることなどが影響していると評価しております。

【連結経営指標等】

※PBR および PER は各年度最終取引日の終値をもとに算出しております。

	2018年 5月期	2019年 5月期	2020年 5月期	2021年 5月期	2022年 5月期	2023年 5月期	2024年 5月期見通し
売上高 (百万円)	97,872	98,617	91,512	79,702	81,713	94,828	102,200
営業利益 (百万円)	2,247	3,118	1,557	1,049	110	1,294	3,100
経常利益 (百万円)	2,358	2,956	1,323	1,211	950	1,575	3,400
親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	1,083	467	142	409	281	320	1,600
1株当たり当期純利益 (円)	143.66	65.36	21.88	64.84	44.44	50.55	241.93
1株当たり純資産 (円)	4,515.26	4,469.04	4,438.11	4,438.67	4,470.49	4,549.75	—
期末株価 (円)	2,754	2,774	1,930	1,900	1,680	2,195	—
PER (倍)	19.2	42.4	88.2	29.3	37.8	43.4	—
PBR (倍)	0.6	0.6	0.4	0.4	0.4	0.5	—

2. 改善に向けた方針

中長期経営目標「SUMINOE GROUP WAY 2022～2024～2027」において、2027年5月期の目標として連結売上高1,000億円以上、営業利益率5%以上を定めております。前述の現状分析及び中長期的な数値目標も踏まえ、ROEをはじめとする収益率・資本収益性改善のための具体的な内容については「中長期経営目標「SUMINOE GROUP WAY 2022～2024～2027」の進捗確認とローリング」及び「次期3ヵ年(2025～2027)連結収支計画の策定」と併せて検討し、公表させていただきます。

目標実現に向けた取り組みとして、下記を実行してまいります。

3. 具体的な取り組み

(1) 中長期経営目標「SUMINOE GROUP WAY 2022～2024～2027」の達成

2027年5月期に向けて、連結売上高1,000億円以上、営業利益率5%以上の達成に注力し、次の方針を推進してまいります。

・自動車内装事業

グローバル戦略をアップデートすることで収益力向上の道筋をつけるとともに、北中米拠点における本格成長に向けた投資を進め、海外市場でのプレゼンスを高めてまいります。

- 合成皮革のメキシコ工場における内製化や拡販、独自の加飾技術による差別化で、当社グループの認知度及び収益率の向上を図ります。
- EV化における素材軽量化の流れを追い風に、天井材、シート表皮材、カーマット、フロアカーペットなどの自動車内装材をトータルで提供できる、世界でも稀有なメーカーである当社グループの特長を活かすことで、繊維素材の受注拡大を図ります。
- 次世代車向け内装の中長期的な開発プロジェクト“I.I.2.0(インテリジェント インテリア 2.0)”のもと、事業横断的なデザイン交流によりグループシナジーを高め、新たな価値創造を推進します。

・車両内装事業

1世紀以上にわたりトップシェアを誇るマーケットリーダーとして、伝統的な日本の文化や技術を守り、技術革新にも取り組みます。

・インテリア事業

業界の先駆者としての誇りを胸に既存事業の収益力強化と新たな価値創造に取り組みます。

- スペース デザイン ビジネスを推進し、自社ブランド中心の空間提案力を強化します。
- 官公庁やハイブランドショップ向けの内装として採用されている当社グループ独自の高い技術を活用することで、中高級品ゾーンに対応する付加価値型の製品群を強化し、グループ全体のブランドカアップにつなげます。
- 環境問題の解決や社会に貢献するインテリア製品の拡販を図ります。

・機能資材事業

全社に展開する技術の源泉として、スマートテキスタイルなど新機能開発に取り組み、新たな成長事業の醸成を図ります。

(2) 配当方針

財務体質の強化と積極的な事業展開に必要な内部留保の充実を図りながら、急激な経営環境の悪化により著しく業績が低迷するような場合を除き、年間配当金 70 円を下限といたします。

今後発表予定の「次期 3 ヶ年 (2025~2027) 連結収支計画の策定」において、業績、利益の状況、今後の経済状況などを取締役会で審議し、現在の配当性向 33%から 38%への引き上げを行い、連結売上高 1,000 億円以上、営業利益率 5%以上の達成で年間配当金 140 円を目指してまいります。

(3) IR 活動の充実

今後、統合報告書やホームページのサステナビリティ活動の内容更新など、IR 関連情報の発信に積極的に取り組んでまいります。また、IR 面談や会社説明会などの機会を増やすことで株主・投資家のみなさまとコミュニケーションを図り、当社グループへのさらなる理解と透明性の確保に努めてまいります。

以 上